



きよかわむら 社協だより

2016
5
No.177



住民等の支え合いによる

今年度も元気に運行

「移送サービス事業」

「病院や施設まで送迎してもらって本当に助かっています。15年以上前に主人が病気になって以来ずっと利用させていただいて、我が家にとって欠かすことのできないサービスです」と、宮ヶ瀬3区にお住まいの川瀬隆子さん（写真左）が話してくださったのは、本会が実施している『移送サービス事業』のこと。

移送サービス事業とは、公共交通機関などを利用しての移動が困難な高齢者や障害者の方（利用条件有り）を、病院や施設、公共機関等へ、車イスのまま乗車できる車両で送迎するサービスです。平成27年度は23人の方に、延べ250回ご利用いただきました。利用者からの負担金（1kmにつき100円）の他に、住民、事業所・商店の皆様からいただいた会費によって運行しています。村内の住民や事業所等の皆様が、お困りの住民の方を支えているサービスです。

ご利用の際は、清川村社協までご連絡ください。（☎046-2287-1118）

5月号 おもな内容

- | | | | |
|----------------|----|---------------|----|
| ●特集 日常生活自立支援事業 | 2P | ●社協職員が接遇研修を受講 | 3P |
| ●広報部会委員が交代 | 3P | ●社協からのお知らせ | 4P |
| ●書き損ハガキの収集報告 | 3P | | |

※みなさまの会費の一部は「社協だより」の発行に充てさせていただいています。

特集

日常生活自立支援事業

高齢や障害のために、日常生活の判断に不安のある方が、
地域で安心して暮らせるようにお手伝いします

毎日の暮らしの中には、いろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。日常生活自立支援事業は、このような場合に、福祉サービスの利用手続きや金銭管理のお手伝いをして、安心して暮らせるようにサポートします。

福祉サービスを利用したいけど
どうしたら
いいんだろう…



福祉サービスの利用援助

○福祉サービスを安心して利用できるように相談にのります。

- どんな福祉サービスがあるか調べてご案内します
- 福祉サービスを利用するための手続きをお手伝いします

×こんなことはできません

- 保証人、緊急時の連絡先になることやご本人に代わって施設の入所契約や病院の入所手続きなどをすること

日常的な金銭管理

○毎日の生活に欠かせないお金の出し入れをお手伝いします。

- 生活に必要なお金を、ご本人の通帳から引き出してお渡しします
- 公共料金や医療費、福祉サービスの利用料等を支払うお手伝いをします
- 年金や福祉手当の受け取りに必要な手続きのお手伝いをします

×こんなことはできません

- 預貯金の資産運用や確定申告、借金の返済等に関すること

生活費の計算やお金の使い方がうまくできないけど、
どうしたらいいんだろう…



実印や年金書類を
どこに置いたか
忘れてしまう、
どうしたら
いいんだろう…



書類等の預かり

○大切な書類や印鑑などを安全にお預かりします。

- 年金証書、定期預金通帳、不動産権利書、契約書や実印、銀行印などをお預かりし、金融機関の貸金庫で大切に保管します。

×お預かりできないもの

- 現金、宝石、預貯金、貴金属類など

利用条件や利用料など、日常生活自立支援事業についてのご相談、お問合せ先は次のとおりです。

清川村社会福祉協議会 担当 大橋 ☎046-287-1118

より良い「社協だより」の

発行を目指して

～広報部会委員が交代～

本会の広報紙『社協だより』を発行するにあたり、『住民の視点』からご意見をいただく『広報部会委員』。今年度はメンバー3人が変更となりました。平成17年度から取り入れているこの部会制度の中で、委員全員が変更となったのは今年度が初めてです。

新委員のみなさんは、「前任者全員が入れ替わるとは知りませんでした。が、より良い『社協だより』をお届けできるよう頑張ります」と抱負を語ってくださいました。3人の委員の皆さまよろしくお願ひします。



▲写真左から細野さん、園曾さん、大矢さん

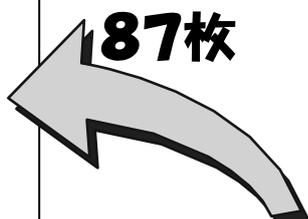
書き損じハガキ収集にご協力いただき ありがとうございました

～書き損じハガキの収集報告～



133枚

今年の2月に発行しました社協だよりにて、書き損じはがきの募集を行ったところ、7名の住民の方から合計133枚の書き損じハガキをご寄付いただきました。



87枚

楽天 未来のつばさ

87枚のハガキを寄付しました。

児童養護施設等の子ども達が社会人の一歩を踏み出せるよう「自立奨学支援資金」を提供するために役立てられます。



46枚

思い出の

ランドセルギフト

ジョイセフがランドセル1個をアフガンスタンに送る際に必要な費用を賄う分として、46枚のハガキを寄付しました。教育の機会に恵まれない女の子の修学に役立てられます。

真心のこもった対応を目指して

～職員が接遇研修を受講～

新年度にあたり、社協職員にとって最も大切な『接遇』について改めて見直し、実践することを目的に、公益財団法人神奈川県福利協会の研修事業を活用した職員研修をひまわり館で実施しました。この研修事業は、講師を事業所へ派遣していただけるということで、当日は直接利用者と接する14人が受講しました。

講師で三井住友海上火災保険(株)経営サポートセンターの横山氏は、「接遇に感動・満足した利用者は、1人が平均して5人にそのことを伝えるのに対し、不満を感じた利用者は、1人が平均して10人にそのことを伝えると言われています」と、いかに接遇が大切であるかを力説されました。

参加した職員からは「実技があり具体的にわかりやすかった」「人と接する仕事をする上で、真心をもって対応することが大切であることを改めて学びました。早速実践したいと思います」などの感想がありました。



▲話し方の実技を行いました

第20回 ふれあいフェスティバルのお知らせ

今年も厚木・愛甲地区の知的障がい者施設、作業所、手をつなぐ育成会等の関係者及び地域の方々が、イベントを通して交流を図り、親睦の輪を広げる『ふれあいフェスティバル』が開催されます。ぜひ、お気軽にお越し下さい。

開催日時 平成28年5月14日(土)

午前10時30分～午後2時

会場 神奈川総合リハビリテーション事業団内
スラローム場(予定)

内容 みゅうじっくぼうる・めい、厚木西高等学校吹奏楽部の演奏その他アトラクション

模擬店 おにぎり、コーヒー、ポップコーン、綿菓子、ゲームコーナー等

お問い合わせ先

野百合園(ふれあいフェスティバル実行委員会)

TEL 046-241-7220

平成28年熊本地震義援金の募集

平成28年4月14日夜に熊本県で発生した地震で、県内に甚大な被害が発生しました。熊本県共同募金会及び中央共同募金会では、被災された方々へのお見舞いのために、義援金募集を行います。詳しくは、清川村社協ホームページをご覧ください。

<http://www.kiyokawa-shakyo.jp>

回収にご協力ありがとうございます

平成28年3月～平成28年4月

○ペットボトルキャップ 7件
○古切手 3件

公益財団法人ジョイセフ主催 「思い出のランドセルギフト」キャンペーン 開梱・梱包等ボランティア募集

アフガニスタンの子どもたちにランドセルを届ける活動の一貫として、ボランティアを募集します。活動は、全国から寄贈されたランドセルの検品、文房具の仕分け、梱包作業が主です。作業を通じ、アフガニスタンの子どもたちの現状や自分たちに何ができるのかなど感じ取って頂ければと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成28年6月4日(土)

午前10時～午後4時(予定)

場所 KK 横浜貿易倉庫

(横浜市都筑区池辺町4261-13)

(JR 横浜線鴨居駅より徒歩7分)

集合時間・場所

午前9時30分までに JR 横浜線鴨居駅改札口へお越し下さい。

内容 寄贈されたランドセルの開梱・梱包作業等

対象 小学校6年生以上の方

参加費 無料

参加申込 5月20日(金)までに清川村社協までお申し込みください。

その他 昼食は村社協で用意します。

問い合わせ・申し込み先

清川村社会福祉協議会

電話 046-287-1118

Email info@kiyokawa-shakyo.jp

寄付をありがとうございます

平成28年3月～平成28年4月

○匿名の方 2,000円
○匿名の方 2,000円

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013

はあじ
うおーむ
平成28年4月14日
夜に発生した平成28年
熊本地震では、県内で甚大
な被害が発生しました。被
災されたみなさまに、心よ
りお見舞い申しあげます。
被災された方に対し、何
かしたいとお考えの方も
多いかと思えます。その際
は、被災地の最新の情報を
確認しましょう。